

令和6年度 第2回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和6年12月23日（月）午後3時00分から午後5時00分まで
大洲市役所3階第1会議室

2 出席した構成員

大洲市長	二宮隆久
大洲市教育委員会 教育長	櫛部昭彦
大洲市教育委員会 教育長職務代理者	山内光郎
大洲市教育委員会 委員	渡邊ひとみ
大洲市教育委員会 委員	吉岡恵一
大洲市教育委員会 委員	久米山雅美

3 会議に出席した職員

（教育委員会事務局）

教育部長	村上 司
教育総務課長	加納 紀彦
教育総務課学校教育指導監	市川 努
文化振興課長	信尾 肇典
スポーツ振興課長	脇坂 剛
学校給食センター所長	深部 一男
教育総務課長補佐	藤原 優勝

（市長部局）

市民福祉部長	上野 康広
子育て支援課長	門多 美千代
こども家庭センター所長	沖野 晃己

（事務局）

総合政策部長	藤原 貴
企画情報課長	井上 朋昭
企画情報課長補佐	谷本 晃一
企画情報課専門員	増田 哲也
総合政策部専門官	久保 明敬

4 傍聴者の数

2名

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 令和6年度主要事業の実施状況
- (2) 令和7年度主要施策・事業（案）
- (3) 大洲市教育大綱の見直し
- (4) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 議事
	(1) 令和6年度主要事業の実施状況
二宮市長	令和6年度主要事業の実施状況を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。 [会議資料に基づき説明] 加納課長、信尾課長、脇坂課長、深部所長、門多課長、沖野所長
二宮市長	ただいま、事務局から、令和6年度主要事業の実施状況についてご説明をいただきました。 この件について何かご意見やご質問はございませんか。
	1 水泳授業委託事業
吉岡委員	水泳授業について、民間のプールを活用し、小中学校のプールの統廃合を考えた上で、学習指導要領に基づく水泳授業を教職員と民間施設のインストラクターが実施したということですが、新しい授業のスタイルであるという感じがする。 この指導の仕方というのは、教職員とインストラクターがどのように協議をされて授業を行ったのかお伺いします。
加納課長	事前に学校と民間施設であるメッサスポーツクラブが綿密な調整を行い、学校からの「こういったことをしてください」といったリクエストに民間施設側が応じるような形で実施しています。 インストラクターの方も小学生や中学生の子が水泳スクールに通っており、ある程度は分かっているような状況なので、調整はスムーズにできたかと思っています。
二宮市長	市川指導監何か補足はございますか。
市川指導監	水泳の授業は限られた時間ではあるのですが、学習指導要領に基づいて実施する内容としては、先ほど課長からありましたように網羅できていると思っています。
山内委員	学校施設の長寿命化計画を立てられていますが、その中でプールの統廃合を検討する一方、プールの改修や長寿命化も検討されているのかお伺いします。
加納課長	冒頭でも申し上げましたとおり、市内の小中学校のプールについては、老朽化が進んできております。このままですと、大きな改修も必要になりますし、更新も必要な状況になってきますが、プールの更新には、標準的

	な小学校のプールで約2億円かかりますので、1校に1プールというような形で継続することは財政面からも困難であると考えております。 その中で、児童・生徒の多い学校については、なかなか民間施設での受け入れというのは難しいので、大規模改修などで対応せざるを得ないと思っています。 そのほかにも近隣の小中学校2校で1プールなどといった組み合わせというのを検討していきたいと思っています。
渡邊委員	水泳授業のアンケート調査結果についてですが、「水泳は好きですか」の問いに対して、中学生の4割の子が「あまり好きではない」「好きではない」と回答していますが、この理由はどういったことか分かっているのでしょうか。
市川指導監	想像の部分もありますが、中学生になってくると女子生徒のなかには恥ずかしさといったものがあったり、男子と女子と一緒に水泳の授業を受けたくないというような生徒もいたりしますので、そのようなことから水泳を嫌がる生徒が増えているのではないかと想像します。 ほかの中学校でも小学校に比べ「好きではない」という割合が増えている傾向にあると想像できます。
渡邊委員	ちょっと思っていたより「好きではない」の数字が多いという印象でしたが、「水泳の授業は楽しかったか」の問いに、「好きではない」と答えた子もほぼ楽しかったと答えているので、この取組みに対しては、一定の成果があったのかと感じています。
	2 学校・家庭・地域連携推進事業 意見なし
	3 カヌー拠点施設整備事業
吉岡委員	大洲に住んでいる我々は、昔から肱川と共に生きており、災害も経験しながらも、肱川の恵みを活用しながら生活してきました。 最近では、多くの方が肱川で活動しているようですが、大洲高校カヌー部以外で活動事例があるのか、お伺いしたいと思います。
脇坂課長	「ホリデーin カヌー・サップ事業」があります。これは大洲カヌークラブが実施されており、例年なら6月から9月まで、（今年は冬カヌーで11月まで）活動されています。 ガイド付き2時間で大人3,000円、小学4年生以上2,000円。この夏は、市外から、ファミリーやグループ188名の申し込みがあったと伺っております。 また、中学校の部活動の地域移行に伴いまして、カヌークラブの実証実験を行っています。部員7名、指導者4名で、ほぼ毎週活動をされています。 この拠点施設ができますと、課題であった「重たいカヌーの運搬問題」や「更衣室やシャワー室問題」また、「大洲高校や県カヌー協会との連携

	強化」など、競技力向上や観光客を含む利便性の向上につながるものと考えております。
吉岡委員	「ホリデーin カヌー・サップ事業」の周知については、どのようにされているのか、お伺いします。
脇坂課長	周知については市のホームページ、広報誌、「あさもや」の掲示板などを使って周知をしています。また、今まで参加されたファミリー・グループのリピートや口コミなど多いと伺っております。
二宮市長	市のホームページ、広報誌、「あさもや」の掲示板などを使って周知をしています。また、今まで参加されたファミリー・グループによる口コミの影響も大きいと伺っております。
山内委員	事業概要で「指定管理制度の導入」の記載がありますが、「肱南地域交流センターの自治会活動」に支障はないのか、お伺いします。
脇坂課長	支障はありません。現時点では、「コミュニティセンターエリア」と「カヌー拠点施設エリア」がはっきりと区別されており、管理運営上も別々になると考えております。
	4 大洲市学校給食センター施設運営手法検討事業
吉岡委員	現在、高校への給食提供について議論されていると思いますが、次期PFIを導入するに当たって、高校への給食提供というのは契約に勘案されるようなこともあるのでしょうか。
深部所長	SPCと構成企業の方に高校への給食提供について話をしたところ、生徒数の減少もありますが、今後のことを考えれば高校への給食提供も視野に入れて考えるべきだと言われているので、できるだけ早く高校への給食の提供ができるように進めてまいりたいと考えております。
二宮市長	長浜高校は、親元を離れて来ている生徒がたくさんいるので、偏った栄養バランスにならないように給食を提供できたらと思っています。高校ですので管轄が愛媛県教育委員会になりますが、先般、県の教育長と副教育長、指導部長の3名の方に我々の目的や考え方をお伝えし、協力要請をさせていただいたところ、検討しますというお返事はいただいています。 ただし、大洲高校と大洲農業高校との統合の問題もありますので、来年度からということにはならないようです。順次、状況はご報告させていただきますと思います。 5 第1期「大洲市こども計画」策定業務 6 第2期「大洲市立幼稚園・保育所等再編計画」策定業務

山内委員	大洲市立幼稚園・保育所等再編計画の中に学校給食から幼児用給食への転換とあるが、幼児用給食というのは学校給食センターで対応可能なものなのでしょうか。
門多課長	認定こども園では4歳児・5歳児について、幼稚園では3歳児から学校給食を提供していますが、栄養バランスとか具の大きさが小中学生用に作られていたり、塩分なども幼児には少し多めということもあったりするので、今度新しく建てる認定こども園において、そこからセントラル方式で幼児用の給食を各幼稚園・こども園に配送するような計画としております。
二宮市長	危険な例として、のどに詰めるなどの事例が出始めていますので、小さな子供用には小さく切った食材を提供できるようにしてもらいたいと思います。+ 幼児用給食につきましては、徳森こども園の入札が終わりましたが、このこども園に給食センターを併設し、近隣の施設に配送するという考えで現在進めております。
吉岡委員	こども計画について、市のホームページで公開されていたのを見させていただきました。短期間でこれだけの計画を立てるのは大変だったと思います。お子さんからもしっかりアンケートをとった上で、計画に反映するとのことでした。このこども計画にもありますように、児童館の使用方法など、子育ての方のみならず、お子さんの意見も反映してもらいたいと思います。この計画の推進に当たっては、「子育てするなら大洲市で」という保護者目線と合わせて、「大洲に生まれてよかった」と子供たちが思えるよう取り組んでいただけたらと思います。
7 こども家庭センターの組織体制	
山内委員	発達支援係というのは、相談室のようなものを設置しているのでしょうか。
沖野所長	就学前に3歳児健診等で気になるお子さんに対して、発達支援係を通じて幼稚園や保育所と情報共有しながら、どういうサービスが必要かなど相談を受けながら進めています。各学校に巡回相談にも行き、その中で気になるお子さんがいれば支援をしていくようにしています。
山内委員	随時、講座を開いたり、巡回相談をされているというのは分かりましたが、発達支援も様々で人間関係が上手くいかなかったり、コミュニケーション能力がおぼつかなかったり、それぞれ個人差があると思うので、いつでも相談ができるような相談室みたいなものがあればいいのではと思うのですが、今後そういうものを設置する考えはないか伺います。
沖野所長	現在のところ、いろいろな施設につなげるという形をとらせていただ

二宮市長	いています。今後、建物を構えるといった想定はしていませんが、気軽に相談ができるような体制づくりはしていかないといけないと思っています。 悩みを持っている親御さんが、こども家庭センターに来てもらい、相談を受けるというのは日常的に受付しています。そこで、専門的な機関につなぐことになります。 大洲市には吃音のスペシャリストの先生もいただいているので、そういった親御さんの悩みにも応じて指導をいただけるようになっていきます。
二宮市長	(2) 令和7年度主要施策・事業（案） それでは、次に、「議題2 令和7年度主要施策・事業（案）」について議題といたします。本案については、事業ごとに説明の上、皆様のご意見をいただきたいと思います。 まず、教育総務課から説明願います。 1 情報通信環境整備事業 [会議資料に基づき加納課長説明]
山内委員	補助対象経費の2/3が補助率で、1/3が市の負担ということですが、端末の予備機が410台というのはどのように算定されたのでしょうか。
加納課長	児童・生徒の全体数の15%までは予備機が補助対象経費として認められています。これまでの端末は中学校については、保証を付けており、パッケージに費用が含まれていてこれまでは安かったのですが、全国的に故障が問題になっていて、保証費がかなり高額になっています。保証費は補助対象経費に含まれませんので、保証を付けるよりも補助対象経費である予備機で対応して方が、安くなるという積算をしておりますので、予備機で対応するようにしております。
二宮市長	教職員の端末はこの中には入っていないのですか。
加納課長	教職員用の端末は補助対象経費に含まれないので、今年度、校務支援のパソコンを購入しました。来年度の児童・生徒用の端末の更新後にはそれを活用することにしております。 予備機についても、教職員が使用しても補助の内容としては問題ないということなので、予備機をそのまま保存するよりは、使った方が端末にも良いということですので、予備機をまず教職員が使うということも併せて考えるようにしています。 2 名勝臥龍山荘庭園保存整備事業 [会議資料に基づき信尾課長説明]

山内委員	臥龍山荘は大洲の街並みを語る上で重要な施設であると感じているので、ぜひ、これはずっと続けてほしい事業だと思います。これからお金がたくさんいるとは思いますが、できる限りのことをやっていただきたいと思います。
信尾課長	庭園は文化振興課、建物は観光まちづくり課の所管になりますが、どうしても建物の方は維持管理にかなりの金額が必要になりますので、十分協力しながら、財政担当とも協議を詰めていきたいと思っております。 3 郷土の先哲顕彰事業及び企画展「長浜再発見」（仮称） [会議資料に基づき信尾課長説明]
吉岡委員	先日、武田斐三郎展を見させていただきました。来年度、長浜大橋等も含めて実施されるということで、池田貫兵衛や河内寅次郎などの地元や、長浜を訪れるといった機会の創出など、観光と絡めて部署を超えてJRなどと一緒に実施するというようなことは考えられていないでしょうか。
信尾課長	市役所以外との連携というのは想定していませんが、もし可能であればJRの方にもパンフレットを持って行って紹介させていただきたいと思っています。 4 カヌー拠点施設整備事業 [会議資料に基づき脇坂課長説明]
吉岡委員	前回の会議でも個人的にこの整備事業には期待している、と申し上げました。オープンテラスについて、机と椅子を置いただけではなかなか利活用という形にはならないと思うのですが、こういった形でこのオープンテラスを活用されるのか、また、民間との関わり方についてどのように考えられているのか、お伺いしたいと思います。
脇坂課長	オープンテラスの利活用については、現時点では予算なし、実効性の検証なし、という状況のなか、アイデアをまとめている途中ですが、これまでのワーキンググループやワークショップの意見や、全国の事例、思い付きのアイデア、など紹介します。 [映像にて紹介] ・大洲高校カヌー部との連携強化、競技力向上 ・サップ大会 ・テラスでのカフェ、キッチンマルシェ、フリーマーケット ・大洲プラージュとの連携 ・テラスでコンサート、ヨガ、読書、シアター、芋炊き など いずれにしろ、民間を含めた関係各所と連携しながら、未来につながるテラスの在り方、可能性について検討してまいります。
吉岡委員	屋上に太陽光パネルがありますが、今の時代、太陽光発電も必要と思う一方で、お城下の景観としてそぐわないのでは？といったところが気

	になります。今後、検討されるなかで、皆さんの意見を聞きながら考えていただきたいと思います。
二宮市長	太陽光パネルはつくのですか。
脇坂課長	15kwのものを設置するようにしています。
二宮市長	景観にマッチした色合いを工夫していただけたらと思います。
	5 大洲市学校給食センター施設運営手法検討事業 [会議資料に基づき深部所長説明] 意見無し
	6 三善・八多喜地区認定こども園施設整備事業 [会議資料に基づき門多課長説明]
二宮市長	建設地は八多喜地区、ネーミングについては公募しまして、委員さん等のご意見をいただき「なかよしこども園」に決定いたしました。 三善保育所の跡地は更地にして公園として地元が管理して使っていたことになっています。
	7 徳森認定こども園施設整備事業 [会議資料に基づき門多課長説明]
吉岡委員	近隣の市町の医療的ケア児の受入状況についてご存じであればお聞かせいただきたいと思います。
門多課長	他の市町については把握していませんが、大洲市につきましては、医療的ケア児は3人いて、そのうち就学前の児童はいないと把握しています。転入者があったり、これから生まれる方もあったりすることとで、いつでも受け入れできるような体制に向けて、来年度から研修も実施するようにしています。
二宮市長	現在は、就学前の医療的ケア児はいませんが、全国的な傾向で課題になっているので、受け入れできるようにしておくということですか。
門多課長	はい。
吉岡委員	就学前のお子さんはいらっしゃらないということですが、近隣の市町での受け入れ体制というのをあまり聞かないので、大洲市で先進的に受け入れられるというのは、いいことだと思っています。 自主防災の関係で医療的ケア児を抱えている方がいて、西日本豪雨災害のときに大変だったというようなことで、避難するにもいろいろな機材をもっていかなければならないので、最終的には垂直避難しかできな

	かったため、自主防災の方に手助けしてもらえないかという相談がありました。 自主防災はその時々役割があるので、ピンポイントではなかなか助けには行けないというような話でしたが、公的な機関と地域とが連携しながら、しっかりとした取組ができたらいと思っています。 もう1点この後の小学校との連携というのはどのように考えておられるのかお聞かせいただけたらと思います。
門多課長	小学校となると、支援学級か支援学校かといった選択肢があると思うのですが、徳森こども園には、令和8年度からは、医療的ケア児の入園がいなくても看護師を配置する予定となっていますので、看護師と学校の養護教諭等が連携して、将来、どちらの学校を選択されるかというのを協議検討していかなければならないと考えております。
二宮市長	市川指導監、現在の小中学校の対応状況、養護学校の取組はどうなっていますか。
市川指導監	特別支援委員会というところで話し合いが行われていまして、その時に宇和の特別支援学校の方や専門の方にも来てもらいながら、医師と医療的な技師そういった方と相談の場を作りながら進めています。連携等が必要であれば、どんどん連携していきたいと思っています。
二宮市長	避難所の関係も大切な課題だと思っていますので、福祉避難所は対応していますけど、吉岡委員が言われたようなことも今後、考えていく必要があると思います。危機管理部門とも連携していきたいと思っています。
二宮市長	(3) 大洲市教育大綱の見直し それでは次に「議題3 大洲市教育大綱の見直し」について議題といたします。 事務局から説明願います。 〔資料に基づき久保専門官説明〕 意見無し (4) その他 意見無し
	4 教育長あいさつ
	5 閉会